

消防団無線活用マニュアル(火災現場編)

無線活用の目的

災害現場で無線を活用し、必要な情報を素早く確実に伝えることで、各団員が適切な判断をすることを可能にし、現場活動をより安全、円滑に行うこと

無線により伝達すべき内容

- ・出勤報告 現場到着報告 出勤人員、部署状況
- ・活動指示
- ・放水開始、中止、圧力調整など
- ・災害の状況(災害状況の変化を発見したとき 延焼を発見したときなど)
- ・負傷者等の情報
- ・その他緊急の情報など

無線機配備状況 (令和4年4月1日現在)

- ・機動部 車載機 1台 + ハンディ機 4台 計 5台
- ・部 ハンディ機 2台

現場で無線機を携帯するもの

機動部

- ・分団長(不在の場合は、各分団の現場での責任者)
- ・機関員 ・筒先員 ・その他(状況に応じて)

部

- ・部長(不在の場合は、各部の現場での責任者)
- ・状況に応じて筒先員または機関員

※出勤時には必ず無線機を携帯してください！

無線通信の基本について

○呼出 自局の名称を名乗り、呼出し先の名称を告げる

例) 「A(自局) から B(呼出し先)」

○応答 返事をし、通信の続きを促す

例) 「B です どうぞ」

○通信 伝えたい内容を簡潔に伝える

例) 「— 通信内容 —」

○解信 通信内容に対する回答をする

例) 「B 了解」

○通信終了 通信を終了する

例) 「以上 A」

○通信時の注意事項

- ・「自局の名称」、「呼び出し先の名称」を明確に伝えてください
- ・通信の頭切れを防ぐため、プレストークボタンを押してから1～2秒開けて通話を始めてください
- ・送信音声を明瞭にするため、ハンドマイクを口から5cm程度離れた位置で送信してください

無線使用チャンネルの設定について

- ・使用するチャンネルは分団ごとに設定されています(1～12ch)

※「使用チャンネル一覧」参照

- ・団本部、分団長に配備する無線機は、下記の設定となっておりますので、チャンネル設定を変えずにお互いの通信が可能です

○団本部 : 全通信(1～12ch)を受信可能(1～11chをスキャン)

○分団長 : 団本部(12ch)の通信を受信可能(12chをスキャン)

※団本部用無線には「☆」、分団長用無線には「○」のマークを付しています

無線通信例（機動部、部、団指揮本部）

機動部

【出勤時】 分団長から団指揮本部へ出勤報告

項目	通信方法
呼出	「〇〇から団指揮本部」 例) 「桜井1から団指揮本部」
応答	「団指揮本部です どうぞ」
通信	「〇〇〇名 ただいまより〇〇火災現場へ出勤」 例) 「桜井1 5名 ただいまより栗殿火災現場へ出勤」
解信	「団指揮本部 了解」
通信終了	「以上 〇〇」 例) 「以上 桜井1」

※機動部開局時、団指揮本部が開局していない場合がありますが、呼出してください

【現場到着時】 分団長から団指揮本部へ現場到着報告

項目	通信方法
呼出	「〇〇から団指揮本部」 例) 「桜井1から団指揮本部」
応答	「団指揮本部です どうぞ」
通信	「〇〇 現場到着 〇〇〇〇〇」 例) 「桜井1 現場到着 出火建物南側消火栓に部署する」
解信	「団指揮本部 了解」
通信終了	「以上 〇〇」 例) 「以上 桜井1」

【放水開始時】分団長から機関員に放水指示

項目	通信方法	呼出名称
呼出	「〇〇から〇〇」 例)「桜井1から桜井1機関」	機関員 → 〇〇機関 筒先員 → 〇〇筒先 例)「桜井1機関から桜井1筒先」→「桜井1筒先です どうぞ」
応答	「〇〇です どうぞ」 例)「桜井1機関です どうぞ」	
通信	「放水準備完了 0.3MPa で放水せよ」	
解信	「〇〇了解」 例)「桜井1機関 了解」	
通信終了	「以上 〇〇」 例)「以上 桜井1 」	

【現場引揚時】分団長から団指揮本部へ現場引揚報告

項目	通信方法
呼出	「〇〇から団指揮本部」 例)「桜井1から団指揮本部」
応答	「団指揮本部です どうぞ」
通信	「〇〇 現場引揚」 例)「桜井1 現場引揚」
解信	「団指揮本部 了解」
通信終了	「以上 〇〇」 例)「以上 桜井1」

【活動時】分団長から部長への指示

項目	通信方法
呼出	「〇〇から〇〇」 例)「桜井1から倉橋」
応答	「〇〇です どうぞ」 例)「倉橋です どうぞ」
通信	「〇〇〇〇」 例)「部署位置を連絡せよ」「出動人員を報告せよ」 「現在の活動状況を連絡せよ」など
応答	「〇〇〇〇 どうぞ」 例)「出火建物南側に部署」「〇〇部〇名です」
解信	「〇〇 了解」 例)「桜井1 了解」
通信終了	「以上 桜井1」

部

【出動時】部長から分団長へ出動報告

項目	通信方法
呼出	「〇〇から〇〇」 例)「倉橋から桜井1」
応答	「〇〇です どうぞ」 例)「桜井1です どうぞ」
通信	「〇〇 〇名 ただいまより〇〇火災現場へ出動」 例)「倉橋 3名 ただいまより倉橋火災現場へ出動」
解信	「〇〇 了解」 例)「桜井1 了解」
通信終了	「以上 〇〇」 例)「以上 倉橋」

※部開局時、機動部が開局していない場合がありますが、呼出してください

【現場到着時】部長から分団長へ現場到着報告

項目	通信方法
呼出	「〇〇から〇〇」 例)「倉橋から桜井1」
応答	「〇〇です どうぞ」 例)「桜井1です どうぞ」
通信	「〇〇 現場到着 〇〇〇〇〇」 例)「倉橋 現場到着 出火建物南側自然水利に部署する」
解信	「〇〇 了解」 例)「桜井1 了解」
通信終了	「以上 〇〇部」 例)「以上 倉橋」

【放水開始時】部長から機関員に放水指示

項目	通信方法	呼出名称
呼出	「〇〇から〇〇」 例)「倉橋から倉橋機関」	機関員→〇〇機関 筒先員 → 〇〇筒先 例)「桜井1機関から桜井1筒先」→「桜井1筒先です どうぞ」
応答	「〇〇です どうぞ」 例)「倉橋機関です どうぞ」	
通信	「放水準備完了 0.3MPa で放水せよ」	
解信	「〇〇 了解」 例)「倉橋機関 了解」	
通信終了	「以上 〇〇」 例)「以上 倉橋」	

【現場引揚時】部長から分団長へ現場引揚報告

項目	通 信 方 法
呼 出	「〇〇から〇〇」 例)「倉橋から桜井1」
応 答	「〇〇です どうぞ」 例)「桜井1です どうぞ」
通 信	「〇〇 現場引揚」 例)「倉橋 現場引揚」
解 信	「〇〇 了解」 例)「桜井1 了解」
通信終了	「以上 〇〇」 例)「以上 倉橋」

団指揮本部

【出動時】団本部から開局報告 出場分団から出動報告

項目	通 信 方 法
開 局	「各局 各局 団指揮本部開局」
呼 出	「〇〇から 団指揮本部」 例)「桜井1から 団指揮本部」
応 答	「団指揮本部です どうぞ」
通 信	「〇〇 〇名 ただいまより〇〇火災現場へ出動」 例)「桜井1 5名 ただいまより栗殿火災現場へ出動」
解 信	「団指揮本部 了解」

【活動時】**団本部**から機動部・部への指示

項目	通信方法
呼出	「 団指揮本部から〇〇 」 例)「団指揮本部から桜井1」
応答	「〇〇です どうぞ」 例)「桜井1です どうぞ」
通信	「 〇〇〇〇 」 例)「部署位置を連絡せよ」「出動人員を報告せよ」 「現在の活動状況を連絡せよ」など
応答	「〇〇〇〇 どうぞ」 例)「出火建物南側に部署」「桜井1 5名です」
解信	「 団指揮本部 了解 」
通信終了	「 以上 団指揮本部 」

共通

【緊急時】**機動部(分団長)**から団指揮本部

項目	通信方法
呼出	「 至急 至急 〇〇から 団指揮本部 」 例)「至急 至急 桜井1から 団指揮本部」
応答	「団指揮本部です どうぞ」
通信	「 〇〇〇〇〇〇 」 例)「建物東側壁面 倒壊のおそれがあるため、周辺団員は退避」
解信	「団指揮本部 了解」
通信終了	「 以上 〇〇 」 例)「以上 桜井1」

※緊急呼出しは、通話中に割り込んで行うことができます

ただし、必ず通話の切れ目に割り込むようにしてください

※緊急通信呼出しを聴取した通話中の無線局は、直ちに通話を中止してください

消防団無線局 呼出名称

【団本部】

部 名	呼出名称
本部	団指揮本部

【桜井1分団】

部 名	呼出名称	部 名	呼出名称
桜井1分団機動部	桜井1	倉橋部	倉橋
		八井内部	八井内
		粟原部	粟原

【桜井2分団】

部 名	呼出名称
桜井2分団機動部	桜井2

【粟殿分団】

部 名	呼出名称
粟殿分団機動部	粟殿

【朝倉分団】

部 名	呼出名称	部 名	呼出名称
朝倉分団機動部	朝倉	黒崎部	黒崎
		狛岩坂部	狛岩坂
		竜谷部	竜谷

【安倍分団】

部 名	呼出名称	部 名	呼出名称
安倍分団機動部	安倍	吉備部	吉備
		山田部	山田
		橋本部	橋本
		高家部	高家
		高田部	高田

【三輪分団】

部 名	呼出名称	部 名	呼出名称
三輪分団機動部	三輪	金屋部	金屋

【織田分団】

部 名	呼出名称	部 名	呼出名称
織田分団機動部	織田	大泉部	大泉
		大西部	大西

【纏向分団】

部 名	呼出名称	部 名	呼出名称
纏向分団機動部	纏向	巻野内部	巻野内
		穴師部	穴師
		大豆越部	大豆越

【豊田分団】

部 名	呼出名称	部 名	呼出名称
豊田分団機動部	豊田	東田部	東田
		江包部	江包

【大福分団】

部 名	呼出名称	部 名	呼出名称
大福分団機動部	大福	新屋敷部	新屋敷
		東新堂部	東新堂
		西之宮部	西之宮

【初瀬分団】

部 名	呼出名称	部 名	呼出名称
初瀬分団機動部	初瀬	馳向部	馳向
		出雲部	出雲
		西之宮部	西之宮
		白河部	白河
		吉隠部	吉隠
		萱森部	萱森
		白木部	白木
		笠部	笠
		小夫部	小夫

【各機動部・部内 担当部署】

担当部署割	呼出名称	担当部署割	呼出名称
機関員	〇〇機関	筒先	〇〇筒先
〇〇については、各機動部・部の呼出名称			
《交信例》			
「桜井1から桜井1機関」 → 「桜井1機関です どうぞ」 「放水はじめ」 → 「桜井1機関 了解」			
「桜井1機関から桜井1筒先」 → 「桜井1筒先です どうぞ」 「現在0.3Mpaで放水」 → 「桜井1筒先 了解」			

使用チャンネル一覧

所 属	ch	備 考
桜井一分団	1ch	機動部、倉橋部、八井内部、粟原部
桜井二分団	2ch	機動部
粟殿分団	3ch	機動部
朝倉分団	4ch	機動部、黒崎部、狛岩坂部、竜谷部
安倍分団	5ch	機動部、吉備部、山田部、橋本部、高家部、高田部
三輪分団	6ch	機動部、金屋部
織田分団	7ch	機動部、大泉部、大西部
纏向分団	8ch	機動部、巻野内部、穴師部、大豆越部
豊田分団	9ch	機動部、東田部、江包部
大福分団	10ch	機動部、新屋敷部、東新堂部、西之宮部
初瀬分団	11ch	機動部、馳向部、出雲部、白河部、吉隠部 萱森部、白木部、笠部、小夫部
団本部	12ch	※1chから11chまでスキャン

※各分団長が使用する無線機は12chをスキャン設定

※15chはコールch(強制的に設定解除)になっているので、使用しない

無線の管理について

- ・出勤時に持ち出しやすい場所に保管してください
- ・保管場所、状況は所属団員で共有し、誰でも持ち出せるようにしておいてください
- ・電源を OFF にし、充電器に差し込んでください
- ・無線機の調子が悪い、設定方法がわからないなどのお問い合わせは、下記消防団事務局にお願いいたします。

【令和4年9月1日作成】

桜井市消防団事務局（桜井市危機管理課内）
岩崎・田仲
電話：0744-42-9111（内線 1421）
メール：bousai@city.sakurai.lg.jp